

新刊必切3月18日(金)

安倍政権最大の外交ブレーンと目された岡崎久彦氏の主著

繁栄と衰退と

外務省情報調査局（後進に佐藤優氏、孫崎亨氏）の初代局長として日本の国際情勢分析を担った著者がソ連崩壊の年に世に問うた警世の書。ウェストファリア条約を境とする十七世紀の経済大国オランダの興亡から冷戦後日本の針路を問う。歴史と国策とが交錯する、格好の名著。



こんな本を読んできた方に

- ・モーロウ『フランス敗れたり』1940年
- ・岡崎久彦『隣の国で考えたこと』1977年
- ・岡崎久彦『戦略的思考とは何か』1983年
- ※「今でしょ」の林修さんが3、40回読んだ名著
- ・ケネディ『大国の興亡』1988年
- ・キッシンジャー『外交』（岡崎久彦訳）1999年
- ・東郷和彦『歴史と外交』2008年
- ・フリードマン『100年予測』2009年
- ・出口治明『仕事に効く教養としての世界史』2014年
- ・佐藤優『世界史の極意』2015年 ほか

ご注文は、**03-6369-3339** ファクスお待ちしております！

貴店印 ※返品了解済み（担当・豊田）

注文数

岡崎久彦=著 土曜社=発行

繁栄と衰退と

オランダ史から日本が見える

※文藝春秋版（1991年）の新装復刊

四六判 288ページ

ISBN978-4-907511-37-1 本体1850円 2016年4月11日搬入予定

土曜社

渋谷区猿楽町 11-20-301 | 販売担当：豊田剛 | tsuyoshi.toyota@doyosha.com